

本校におけるこれまでの授業改善の取り組み

古河第一高等学校 授業改善推進プロジェクトチーム

1. 相互授業参観

【目的】

- (1) 全教職員が他の教職員の授業を参観する機会を確保する。
- (2) 授業参観の成果を、教科会で共有し、各教科の授業力向上に努める。
- (3) 生徒の学びの見取りを通して、学びに向かえていない生徒の姿を共有するなどして、生徒指導上の問題行動の未然防止を目指す。

上記の目的を教職員間で共有の上、各教科でテーマを設定しながら、相互授業参観の充実を図った。

2. 学校訪問

(1) 実施日 令和7年11月6日(木)

(2) 実施内容

① 授業参観

2年会計ビジネス科 「財務会計Ⅰ」

1年商業に関する学科 「情報処理」



② 研究協議

3～4人のグループに分かれ、「担当している授業で感じる「課題」について」、「学校や学年、教科、校務分掌などに対する提案や改善案」を協議した。研究協議後は、茨城県教育庁学校教育課 高校教育課の戸邊裕樹主任指導主事から講評いただいた。

(3) 研究協議内容(要約)

① 担当している授業で感じる「課題」について

基礎学力の充実を目指した授業の質の向上が課題である。多様な進路に対応する学力を向上させるために、日ごろの授業を振り返りつつ、ICTやAIの活用を一層加速させていく必要がある。

② 学校や学年、教科、校務分掌などに対する提案や改善案

本校では、ICT環境が整備されたことを大きな強みと捉えつつも、それを十分に活かすための教員研修・共通理解・授業デザインの再構築が今後の重要課題であると考えられている。